

生まれ育った横芝光町の未来を語る

二十歳若者

×

町長



左から、水須太陽さん、伊藤海凪さん、川島ありささん、佐藤町長、江口由士さん、加瀬晶さん

12月2日、二十歳の若者世代の5人を迎え、佐藤町長と「横芝光町の未来」について、語り合いました。 《敬称略》

町長

今日は、お集まりいただきありがとうございます。二十歳を祝う式典実行委員のみなさんとお話しできることを楽しみにしていました。みなさんの率直なご意見をお聞かせください。

川島

子育て期に入る知人がいますが、出産前から出産後のケア・サポートなどで健康福祉センター「プラム」をよく利用していると聞きます。会話の中で、子どもと安心して過ごせる遊具などが充実した公園があるといいなと話していました。

町長

町の子育て支援の主な施策は、妊娠・出産・子育て期における健康支援やケア・サポート事業のほか、医療費や給食費の無料化などを先駆的に行ってきました。近年では、

成田空港に隣接する町である特性を活かし、航空業界の職種や仕事内容などの理解を深めてもらうため、町内小学6年生を対象とした周遊フライ

町長

トの実施やグローバル人材を育成するため、選抜された町内中学生を海外派遣する事業なども行っています。遊具などが充実した公園の設置については、町内にある公園を集約してきちんと整備する必要があると感じました。良い提案をありがとうございます。

江口・加瀬

「人口減少」問題は、横芝光町でも課題となっていると思いますが、若い世代が町外へ転出してしまいう傾向にあります。どのような対策や取り組みを行っていますか。

町長

町の人口は、少子高齢化の影響で減少しています。町では、人口減少に歯止め

をかけるため、さまざまな取り組みを行うとともに、今後、働き方や生活スタイルの多様化が進み、若者世代の価

値観の転換期を迎えるこれらの未来を見据え、横芝光インターチェンジ周辺開発事業や居住地形成戦略、産業振興戦略、交通網形成戦略の取り組みを進めています。

加瀬

町のさまざまな支援の取り組みが行われていると知れば、都市部にいる人も自立したらかこの町に住みたいなど考える人がいると思うのですが、町の情報を広く周知する取り組みは行われていますか。

町長

町の魅力や取り組みなどの周知は、町公式ホームページへの掲載や各報道機関へのプレスリリース(情報提供)などを積極的に行っています。周知の充実には、重点的に行うべき施策のひとつだと考えています。君たちのような若い世代の視点でSNSなどで情報を発信することも、手段のひとつかもしれませんね。

水須・伊藤

今回、佐藤町長と同じ目線でお話を伺い、多分野にわたる町の取り組みを行っている



ことがよくわかりました。

今は学生ですが、卒業して社会人になっても地元横芝光町に住み、何か町のために貢献できたらと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。ありがとうございます。

町長

こちらこそ、みなさんとの話ができたことをうれしく思います。若い世代のみなさんの視点からご意見・ご提案いただいたことを参考にさせていただきます。ありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。